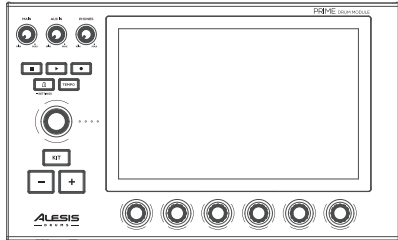


## PRIME DRUM MODULE

クイックスタートガイド (日本語)  
v.1.1



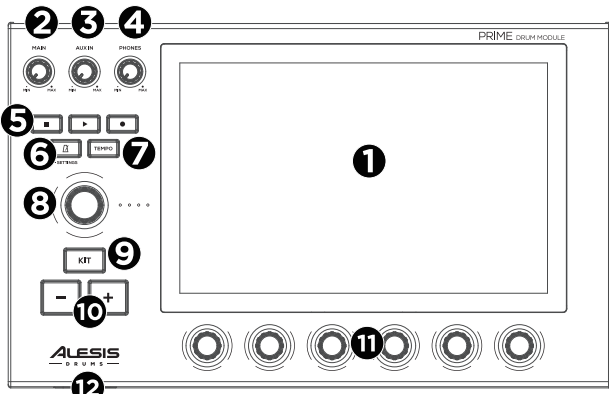
ALESIS.COM/SUPPORT



LDMD

製品情報、ビデオ、連絡先、Web サポートについては  
こちらをご覧ください。

### 3 基本操作



1. **タッチ・スクリーン・ディスプレイ**: 10.1インチサイズのフルカラー・マルチタッチ・ディスプレイは現在の操作に関連する情報を表示します。ディスプレイへのタッチやハードウェアコントロールを操作してインターフェイスを制御します。
2. **Main (メイン)**: メイン出力の音量を調節します。
3. **Aux In (Aux 入力)**: Aux 入力に接続されている信号のゲインを調節します。
4. **Phones (ヘッドホン)**: ヘッドホン出力の音量を調節します。
5. **トランスポートコントロール**: 再生や録音のコントロールをおこなうセクションです。
6. **メトロノーム**: このボタンを押すとメトロノームがオンオフできます。長押しするとメトロノームメニューが開きます。
7. **Tempo (タップテンポ)**: このボタンを複数回タップするとタップテンポによるテンポ検出がおこなわれます。
8. **メインエンコーダー (プッシュボタン機能付)**: キット切り替え、現在表示中のパラメーターなどの編集に使用します。
9. **KIT (KIT ボタン)**: キットモードと、その他の現在アクティブなモード (キットエディット、ミキサー、トリガーエディット、バックイングトラック、セッティング) を切り替えます。
10. **Select Up/Down (アップ/ダウンボタン)**: これらのボタンで現在の選択を上下に移動します。これらのボタンの機能は、現在のモードがアクティブになっているかによって異なります。
11. **スモールエンコーダー**: これらのエンコーダーを操作して、音量レベルやパンニングといった、現在メニューに表示されているパラメーターの編集に使用します。
12. **ヘッドホン出力 (3.5 mm ステレオまたは 6.35 mm ステレオ)**: 一般的なステレオヘッドホンをおこなうこれらのいずれかの出力に接続します。
13. **モジュールマウント (本体下部)**: 付属のモジュールマウントを PRIME の底面に接続し、付属の 4 本のネジでラックに固定します。

### 1 はじめに

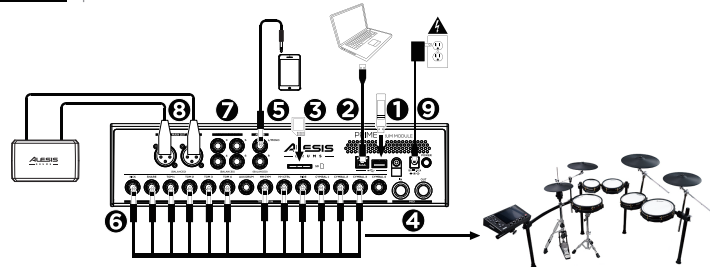
同梱物: PRIME ドラムモジュール、電源ケーブル、クイック・スタート・ガイド、保証書



ALESIS.COM

- ・製品の登録
- ・ユーザーガイドのダウンロード
- ・ソフトウェアのダウンロード
- ・チュートリアルビデオ

### 2 接続結線図



1. **USB-A 端子**: サンプルをインポートするための USB ドライブを接続します (exFAT または FAT32 フォーマット)。
2. **USB-B 端子**: コンピューターの USB 端子と接続して、MIDI データの送受信をおこないます。
3. **SD カードスロット**: サンプルをインポートするための SD カード (exFAT または FAT32 フォーマットの SD、SDHC、SDXC) を挿入します。
4. **MIDI 入力 / 出力**: 外部 MIDI デバイス (シンセサイザー、ドラムマシンなど) に接続します。
5. **Aux 入力 (6.35 mm TRS)**: ミキサー、シンセサイザー、サンプラーといった外部オーディオソースと接続します。
6. **トリガー入力 (6.35 mm TRS)**: ここにトリガーケーブルを接続して、接続されたドラムパッドやシンバルからのトリガー信号を受信します。
7. **アサイン出力**: ソフトウェア出力 5/6 および 7/8 に割り当てられた個別のインストゥルメントやバスの信号をこの出力にルーティングします (ミキサーメニューから割り当て設定可能)。
8. **メイン出力 (XLR)**: モニターやミキサーなどへ接続します。
9. **電源入力**: 付属の電源アダプターをここに接続します (19 V 3.42 A センタープラス)。

#### タッチスクリーンを使用する

タッチスクリーンに表示されているボタンや選択肢をタップして選択などの操作をおこないます。

#### サウンドを発音する

1. ドラムパッドがラックにしっかりと固定されていることを確認してください。ラックをカーペットやドラムラグの上に設置して振動を軽減させ動きづらくできます。
2. ドラムパッドを適切なトリガー入力に接続してください。
3. PRIME とスピーカーまたはヘッドホンを接続してください。
4. PRIME の電源をオンにしてください。
5. パッドを叩くとサウンドがトリガーされます。

#### キットを選択する

キット選択モードに入るには (キットメニューが表示されていない場合)、Kit ボタンを押してキットのリストをスクリーンに表示させてください。タッチスクリーン上の -/+ ボタン、またはメインエンコーダーでキットのリストをブラウズできます。タッチスクリーン上のキット名をタップ、またはメイン・エンコーダー・ボタンを押すとキットが選択されます。

#### キットを編集する

キットを編集するには、現在キットモードが表示されている場合は、Kit Edit ボタンを押してください。ドラム・トリガー・スロットをタッチすると編集スクリーンに移動します。スクリーンを上下にスワイプしたりメインエンコーダーをスクロールして、選択したインストゥルメントを任意のゾーンに割り当てます。

#### クロストークの問題を解決する

クロストークに悩まされているとき (あるドラムパッドを叩くと別のドラムの音がトリガーされてしまう場合は)、キットモードからトリガー編集メニューに移動して、クロストークを引き起こしているゾーン (KD、SD、T1 など) を選択し、Learn XTalk を選択してください。ここでスクリーンの手順にしたがって調整をおこなっていきます。設定が完了したら Save を押してください。クロストークを引き起こしている他のドラムやシンバルについても、このプロセスを繰り返して調節をおこなっていきましょう。

#### ハイハットペダルの調節

あなたが愛用しているハイハットペダルでパフォーマンスを最適化するには、トリガー編集メニュー内の HH Setup ボタンをタップしてください。ここでスクリーンの手順にしたがってキャリブレーションを完了します。ハイハットのパフォーマンスを微調整するには、トリガー編集モードで HH トリガースロットをタップし、次に Advanced タブ (詳細タブ) をタップしてください。Pedal Bottom パラメーターで、オープンハイハットとクローズドハイハットの反応を満足のいく状態になるまで調節してください。

機能を完全解説しているユーザーガイドは以下より入手できます

ALESIS.COM